



日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
先月に引き続き、当院の機能分化・連携の教化の指標の一つであります、逆紹介患者の推移についてご報告いたします。

地域医療連携室 高山 国子

第16号 発行日 平成21年6月

逆紹介患者数の推移（診療情報提供加算件数 年度別・科別）

	17年度	18年度	19年度	20年度
第一内科	463	582	448	439
第二内科	1125	1445	1379	1378
外科	149	170	262	361
整形外科	119	189	328	279
皮膚科	57	64	62	41
小児科	109	87	129	120
耳鼻科	44	42	48	54
眼科	132	160	212	175
泌尿器科	103	102	80	83
産婦人科	67	97	123	151
脳外科	103	172	184	206
放射線科	189	261	7	0
精神科	79	81	79	81
麻酔科	28	0	0	15
心臓外科	62	40	66	60
形成外科	51	56	86	112
歯科	26	44	30	34
計	2906	3592	3523	3589

(人)

逆紹介率は、診療提供加算算定件数を初診患者数で割って算出します。
17年度から20年度の逆紹介率は、11%から12%で推移しています。
この値は、病院の規模からしますと決して喜ばしい値ではありません。
これまで以上に、収益とのバランスをみながら「外来診療の効率化」「診療待ち時間の短縮」「外来単価の増加」を目指し、再診の患者さんを逆紹介するための地域医療連携の教化が重要を言えます。